

シンフォニック・レオ Symphonique LEO

Vol.3 ワンコインコンサート

2013年6月1日(土) 14:00 ~ (開場: 13:30)
鶴見公会堂 (横浜市鶴見区豊岡町2-1) フーガ1 6・7階

入場料: 500円 (当日受付にてお支払いください)

指揮 家田厚志

プログラム

【I部】

メンデルスゾーン 弦楽のためのシンフォニア 第1番 C-dur

J・S・バッハ チェンバロ協奏曲 BWV1056 第5番 f-moll

ヨハン・パッヘルベル 弦楽器と通奏低音の為のカノン D-dur

【II部】

R・シュトラウス 13管楽器のためのセレナード Op.7

R・シュトラウス 組曲 B-dur Op.4



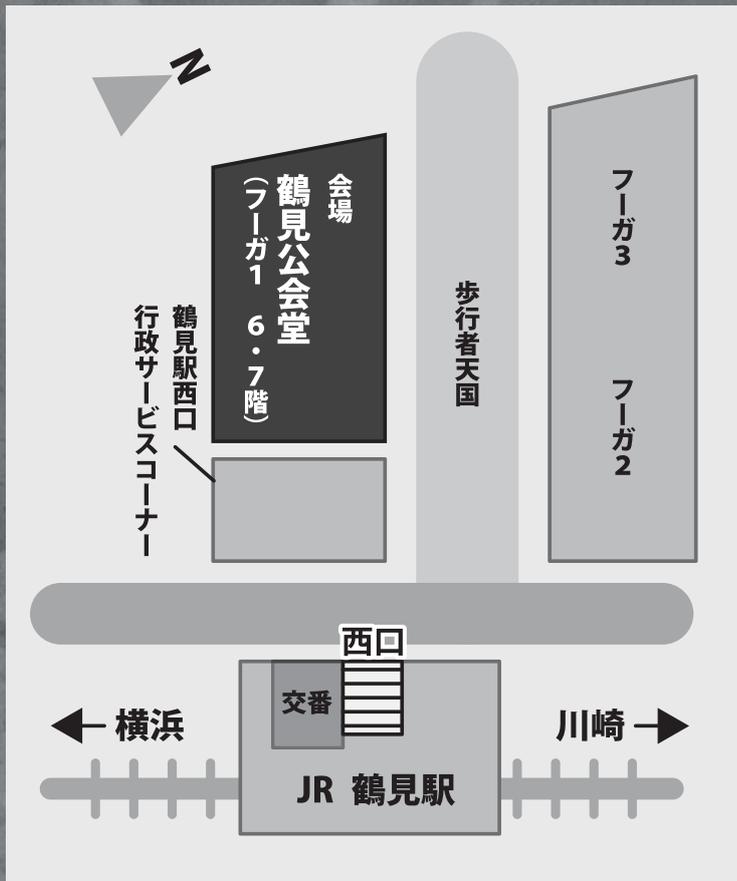
指揮者

家田 厚志

Atsushi IYEDA

1955年2月神戸生まれ。大阪、追手門学院大学心理学科（音響心理学専攻）卒業という異色の経歴を持つ。打楽器を百瀬和紀、指揮を山岡重信、各氏に師事。その後渡欧。1980年より二期会、ステファノ・オペラ劇場などの指揮者として活動を開始。1988年4月劇団四季において大きな話題を呼んだミュージカル「オペラ座の怪人」の日本初演を指揮、劇的な成功を収める。以来、新星日本交響楽団、東京シティフィルハーモニック、群馬交響楽団、ニューフィルハーモニー千葉、九州交響楽団、N響団友オーケストラ等を指揮。特にN響団友オケでは20数年にわたる緊密な関係を通じ、故・千葉馨（ホルン）、北村源三（トランペット）各氏

をはじめとする数々のN響の往年の名手達の絶大な信頼を得る。海外においても台湾の台北首都歌劇団、ウクライナ国立歌劇場管弦楽団を指揮。また中国における戦後初の外国人常任指揮者として1994年から1996年まで上海放送交響楽団常任指揮者、引き続き2004年まで同団指揮者を務め、アイザック・スターン（ヴァイオリン）をソリストとして招くなど同団の実力・地位を飛躍的に向上させた。2000年から2007年まで東邦音楽大学特任教授。さらにラジオ大阪「家田厚志のタクトでバトル！」DJ、フジテレビ「トリビアの泉」、TVコマーシャル「セガミ薬局の霊芝エスモン」等でも活躍。大胆かつ繊細な音楽性と、クラシック音楽のイメージを覆す強烈に明るいキャラクターで人気を集めている。現在、フィルハーモニア東京指揮者。



会場までのアクセス

JR 鶴見駅西口より徒歩すぐ

フーガ1 6・7階

お問い合わせ

symphonique_leo@yahoo.co.jp

団員募集

弦楽器 Vn,Va,Vc,Vb(演奏経験3年以上)

入団費・団費はありませんが、年に一度の演奏会に向けての諸経費として、参加費2~3万円を徴収しています。練習は、演奏会前2~3ヶ月前から6~10回、横浜・東京の公共施設を利用しています。